

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

食道癌における TLS（三次リンパ様構造）と予後の関連に関する研究

1. 研究の対象

2016年1月1日 から 2024年12月31日までの間に、当院の消化器外科で食道癌についての根治切除手術を受けられた方

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2028年3月31日 まで
25-9.2

3. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、食道癌の免疫機構について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において食道癌根治切除術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに切除した食道癌における免疫細胞集合体のデータを用いて、予後や再発に関する分析を行い、再発リスクや予後予測について検討します。

方法：この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体、情報等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：食道癌根治切除術で切除した標本
- ・情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、既往歴、治療内容、血液検査結果、画像診断結果、臨床経過、治療効果、再発有無、転帰

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2290）

研究責任者 消化器外科 小柳 和夫

問い合わせ担当者 消化器外科 中島 理絵